

鶴野地域における公共施設再編に係る住民説明会（質疑要点録）

日時：令和5年3月21日（火）

午前10時00分～午前11時15分

場所：市役所新館7階 講堂

◇市出席者

総務部 理事（防災危機管理）辰巳
生活環境部 部長 吉田、部参事 安田、環境センター長 三浦
建設部 次長 松倉、水みどり課長 宮城
教育総務部 部長 小林、教育政策課長 松田、教育政策課長代理 藤原

◇住民参加者 20名

■主な質疑内容

【環境センター】

- 環境センターと鶴野自治会は懇談会を年1回行ってきた。センターが無くなることの経緯を含め、自治会への説明がない。この説明会よりも前に説明があってほしかった。順序が逆になっている。
⇒意見
- 環境センター跡地のダイオキシン問題は、新しい公園で子どもたちが遊ぶことについて健康被害等の心配が出ないように検討してほしい。
⇒要望

【新たな公園、公園移転】

- 鶴野第2公園を廃止する説明は、事前に自治会にするべきではないか。順序が逆になっている。
⇒事前に自治会長ならびに自治会役員の皆さんには説明している。今後も丁寧な説明はさせていただく。
⇒鶴野第2公園は区画整理事業で住民が土地を出し合ってあの場所にできた公園であり、説明がないまま廃止されるのは納得できない。事業には国費が使われており、簡単には廃止できないと思う。それに、公園が5年間無くなる間の説明もない。

⇒今後、法に基づいた都市計画審議会場で公園廃止について議論される予定になっており、国費については大阪府へ確認したが、公園ができて40年以上が経過しているので法に抵触することはないと聞いている。

⇒施設の再編については反対しないが、説明順序に問題があると言いたい。

- 三宅柳田地区にはコミセン等の公共施設がない。新しい公園に施設を考えてほしい。

⇒要望

- 鶴野第2公園には子どもたちがよく遊んでいるコンクリート製の遊具がある。新しい公園に移設されるのか。キャンプ場施設も利用させてもらうことがある。両施設の移設と大型遊具の設置をお願いする。

⇒要望

【防災】

- 防災について大学教授の話聞き、被災地へ見学に行き勉強している。新たな公園は高台にするとの事だが、その場所は河川が合流する箇所なので堤防決壊が起りやすいと聞いた。ぜひヘリポートを建設してほしい。

⇒鶴野地域は浸水想定で4m浸水すると出ている。まずは事前に避難していただくことが重要であると考えている。ヘリポート建設については検討材料のひとつとします。

⇒河川氾濫が起こってからでは避難ができないので、救命ボートを利用した避難はできないか。

⇒救命ボートは消防署が所有している。避難には利用できないと考える。まずは事前に避難していただくため、広域避難を含めた案内をさせていただく。

- 市役所や消防署に近いとはいえ、洪水が起これば避難できなくなる。鶴野地域の土地の状況をよく考え、住民の意見をよく聞いて高台化してほしい。

⇒要望

- 川の合流点に新たな公園を作っても本当に大丈夫か心配である。

⇒意見

- 鶴野地域の避難所は三宅柳田小学校になっている。新しい公園が高台化になるのであれば、避難者が寝れる施設がほしい。三宅柳田地区には皆が集まれる施設がないので、高台の上に檣のような施設がほしい。

⇒要望

【給食センター】

- 給食センターの候補地として鶴野第2公園は決定しているのか。この説明会で意見を言えば変わることがあるのか。既に決まっているなら説明会に出る意味がない。環境センター跡地に建てることはできないか。鶴野第2公園に建てることは反対する。

⇒鶴野地域の公共施設再編を考えるうえで鶴野第2公園を候補地として決定している。これからも皆様のご意見をいただき、反映していきたい。

⇒青少年グラウンド北側の不法駐車を知っているか。住民は非常に迷惑しており、危険な状況で生活している。その上に給食センターの配送トラックの通行が増えると、より危険が増すことになる。堤防側に出入口を作るとなればきれいな遊歩道が無くなる。市はどう考えているのか。

⇒不法駐車の現状については確認しており、警察にも動いてもらっているが減る気配がないと聞いている。配送ルートや台数等について、地域の皆さんの迷惑にならないように検討していきたい。

- 色々と他の方々の話を聞くと環境センター跡地に給食センターを持つことはできないか。

⇒意見

- 鶴野第2公園は利用者が多い。給食センターができることで環境が悪くなると思う。環境センター跡地に給食センターは建てられないか。

⇒意見